



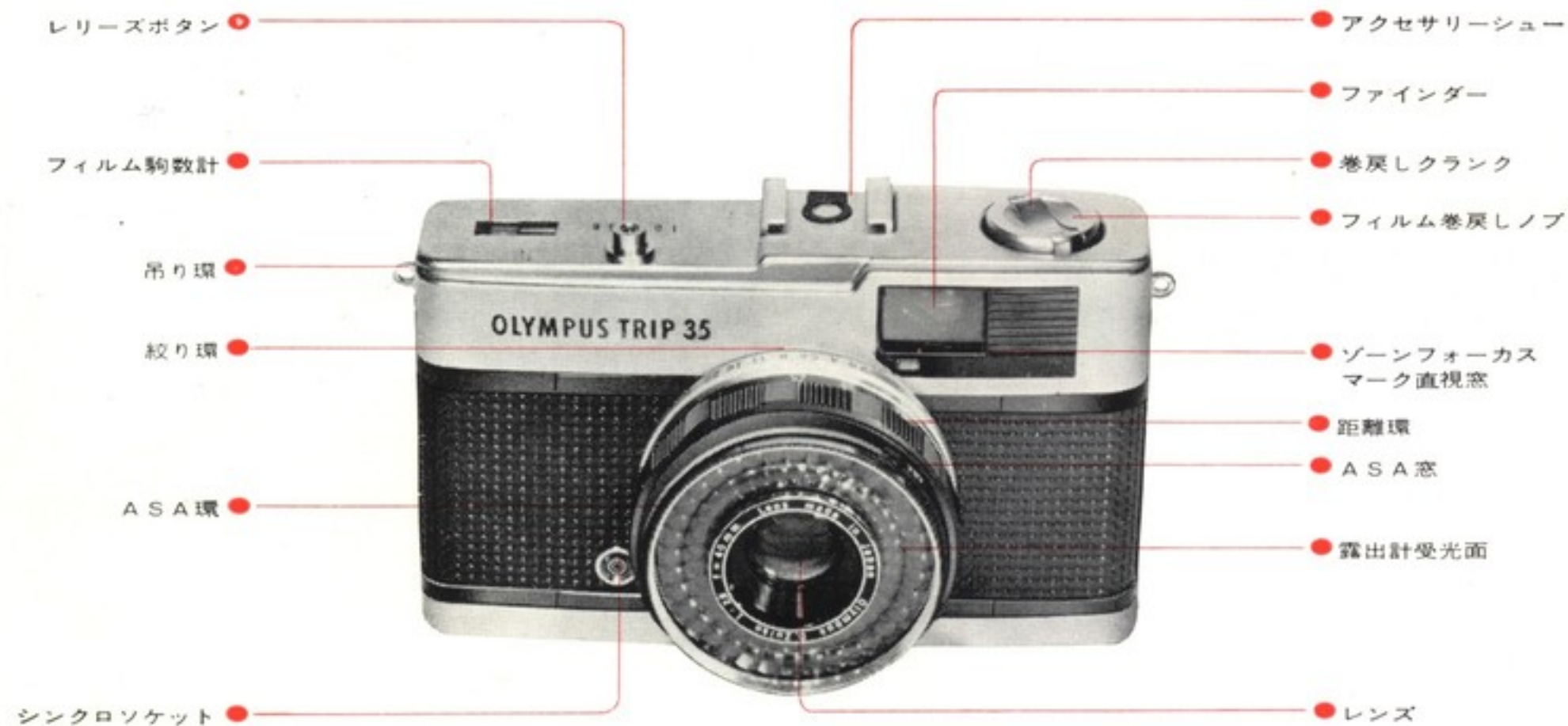
取扱説明書

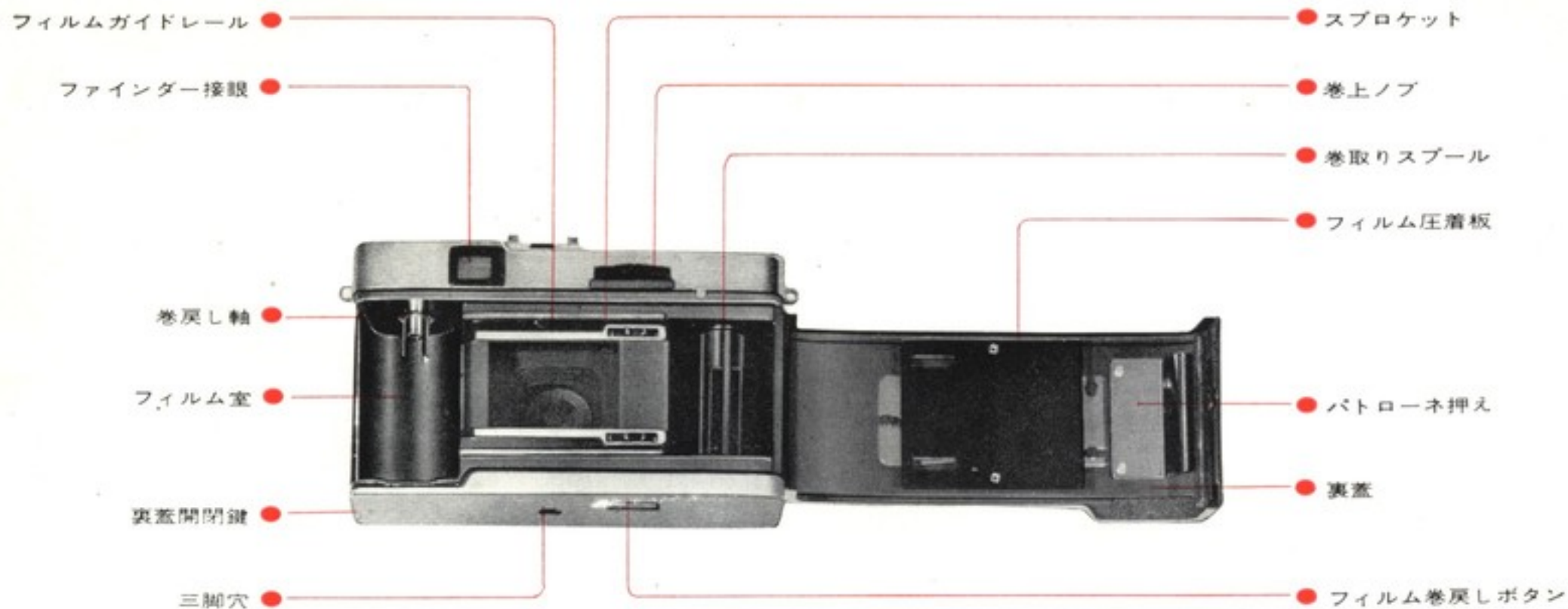
Olympus TRIP 35

現金正価 ¥ 13,500 月賦定価 ¥ 14,300 ケース ¥ 1,300

OLYMPUS OPTICAL CO., LTD. TOKYO, JAPAN

この説明書をひろげて、実際カメラを手にして、写真を見ながらお読み下さい。
写真にある手の位置がカメラの正しい使いかたですから、よく注意してごらん下さい。





■おもな性能…… ●フィルムサイズ：24×36mm(35ミリサイズ) ●レンズ：D、ズイコー F2.8 f=40mm(3群4枚) ●シャッター：オリンパスシャッター、(自動)プログラム式E E ($\frac{1}{50}$ 秒・ $\frac{1}{60}$ 秒)(手動) $\frac{1}{50}$ 秒、シンクロX接点 ●手動絞り目盛：F2.8~22 ●ファインダー：ブライトフレームファインダー0.55倍、バララックス(視差)補正マーク付、ゾーンフォーカスマーク直視、露出不足時赤警告マーク付 ●フィルム装填：ELシステム(イージー・ローディング) ●フィルム巻上：リヤーワインディング、セルフコッキング、自動巻止、二重露出防止、二重巻上防止 ●フィルム駒数計：順算式、自動復元 ●フィルム巻戻し：クランク式、巻戻しボタンセット式 ●ピント調節：ゾーンフォーカス式(4点調節)、m(メートル)、ft(フィート)距離目盛付 ●露出調節：露出計による自動調節(E E)、露出不足時レリーズロック装置付 ●E E可能範囲：E V 8~E V 17(ASA 100) ●フィルム感度目盛：ASA 25~400 ●裏蓋開閉：蝶番式 ●アクセサリシュー：コードレス接点付 ●大きさ・重量：116(巾)×70(高)×57(厚)mm、410gr



撮影をする前には、忘れずにレンズキャップをはずして下さい。

1. まずA（自動）をはずします。

絞り環を回して、A（自動）マークを赤指標からはずし、適当な絞り数値（どれでも結構です）に合わせます。

1

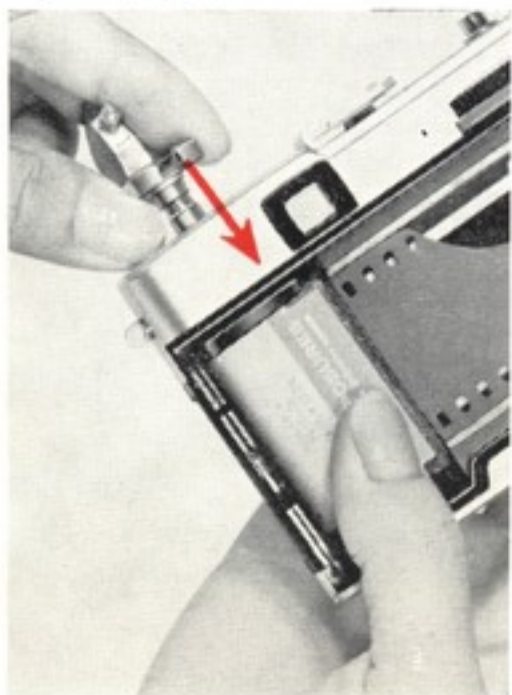
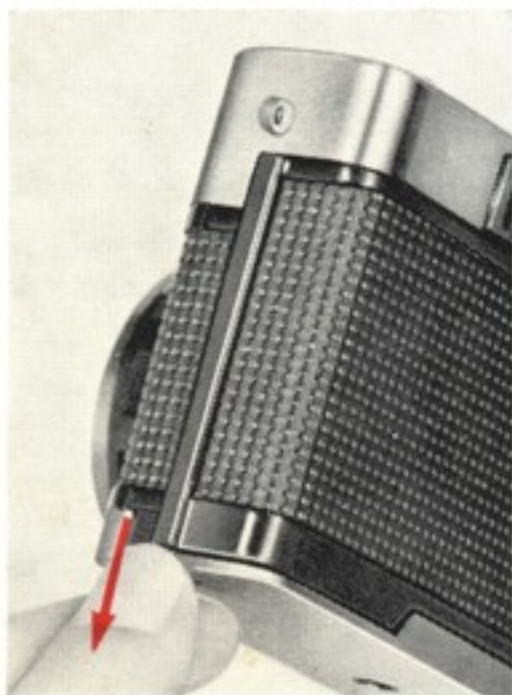
Auto

フィルムを入れるときA（自動）をはずす理由は、周囲が暗いとリリースボタンが押せずフィルムを入れる操作がスムーズに行われない場合があるからです。撮影をする場合は、必ずA（自動）に合わせて下さい。A（自動）に合わせれば、カメラが自動的に絞りとシャッタースピードの適切な組合せを選ぶE Eシステムが働きます。

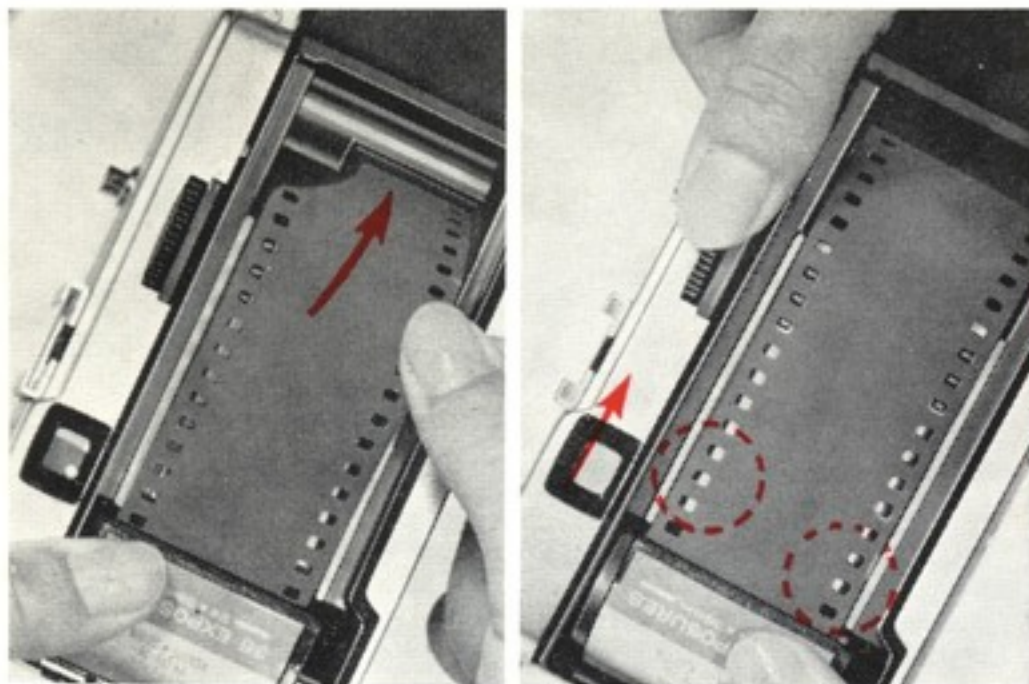
2. 裏蓋をあけて、フィルムを入れます。

裏蓋開閉鍵を下に引くと、裏蓋が自動的にあきます。次にフィルム巻戻しノブを上に出し、フィルムバトローネをフィルム室におさめ、巻戻しノブを元の位置に戻します。巻戻しノブが元の位置に戻らないときは、左右に少し回しながら押込むと、楽にカチリと入ります。

2



※フィルムの出し入れは、直射日光をさけて行ないましょう。



3

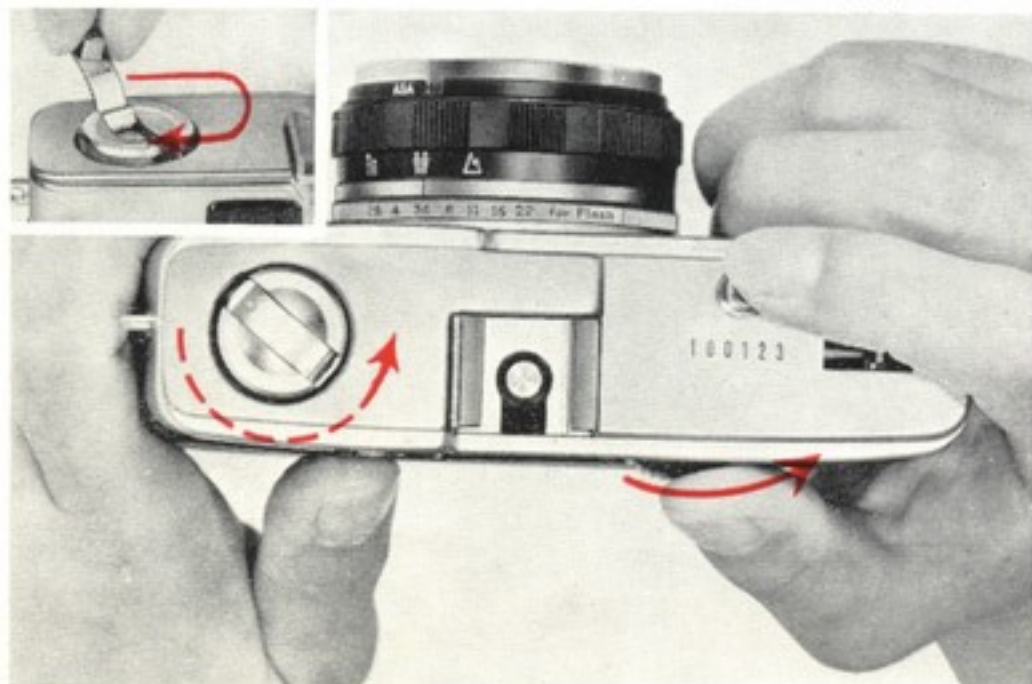
3. フィルムがしっかり入っていることを確認し、裏蓋を閉じます。

左手でパトローネを軽く押さえながら、右手でフィルムを持って少し引出し、その先端を巻取りスプールの溝に差込みます。差込みやすい溝ならどれでも結構です。次に右手で巻上ノブを止まるまで回し、リリースボタンを押して空写しを行います。フィルムのパーフォレーションが両側ともスプロケットの歯にしっかりかかることを必ず確認してから、裏蓋を静かにパチリと閉じて下さい。ここで念のため巻戻しクランクを起し、矢印の方向にノブが重く感じるまで軽く回して、フィルムのたるみをとっておきます。

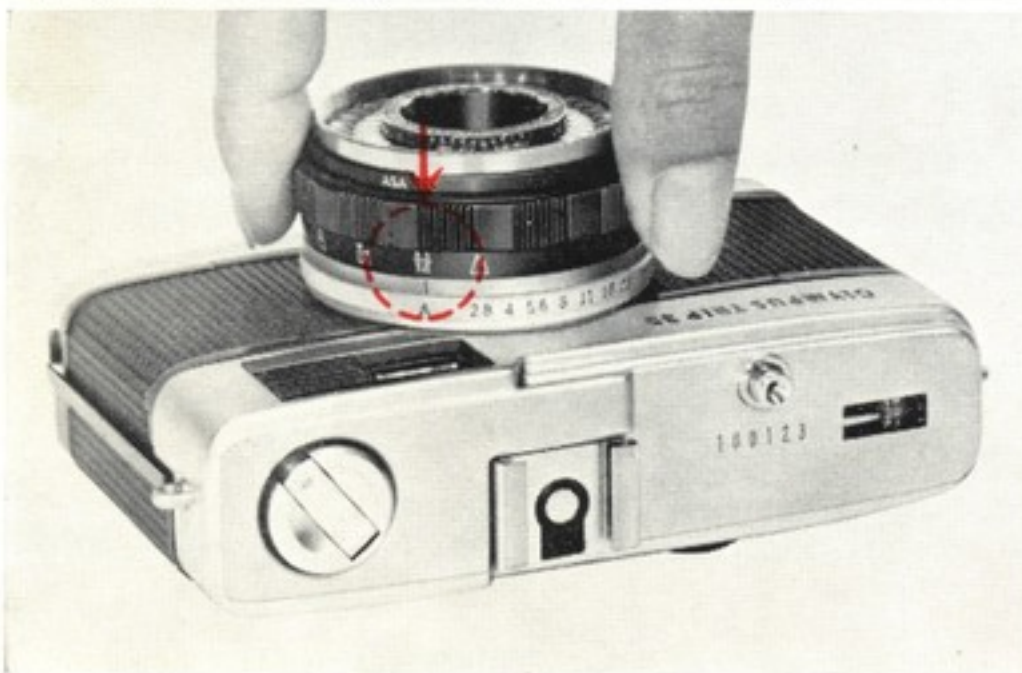
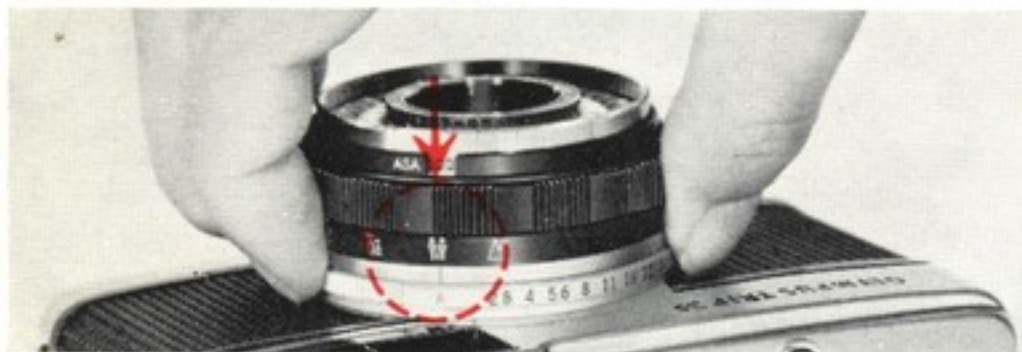
4. フィルム駒数計を1に合わせます。

ここで空写しを更に2～3回行い、フィルム駒数計が1を指すようにします。ここから撮影に入ります。この空写しの途中で巻上ノブが巻上につれて回っていれば、フィルムは正しく送られていることになります。

4



フィルム駒数計は順算式で、写し終ったフィルムの駒数がダイダイ色の線の先に示されます。目盛はS（スタート）から1、2、4と以下偶数で36まで打っており、フィルムを巻上げると1駒分づつ動きます。撮影が終わって裏蓋をひらくと、フィルム駒数計は自動的にSの位置に戻ります。




5

5. フィルム感度を合わせ、A(自動)にします。鏡筒の先端のASA環を回して、ASA窓に使用するフィルム感度(ASA)ができるようにします。例えばSSフィルムなら100に合わせます。次に絞り環を回して、A(自動)を赤指標に合わせます。クリックストップになっていますので、カチリと止まります。

ASA

エイ・エス・エイあるいはアーサーと読み、最も一般的に使われているアメリカ規格のフィルム感度表示です。特にトリップ35のようなEEカメラでは、フィルムの外箱に記載されているこのASA数値を間違えずにカメラにセットすることが、適正露出を得るための大切な条件になります。なおASA32のフィルムを使用する場合は、ASA40を代用して下さい。

6. ピントを合わせます。

写したいものまでの大体の距離を目測し、距離環を回して、適当なゾーンフォーカスマークを赤指標に合わせます。またファインダー内の右下に小窓があり、そこからゾーンフォーカスマークが見られ、ファインダーをのぞいたままでも、ピント調節ができます。一般の撮影の場合は  に合わせておけば、いちいち距離を合わせなくても、大抵ピントが合うようになっていますので大変便利です。フラッシュ撮影や精密なピントが必要なときは、ゾーンフォーカスマークとちょうど正反対の裏側にある距離目盛をご利用下さい。

6



7

7. ファインダーをのぞきます。

カメラをしっかり構え、ファインダーをのぞいて構図を決めます。写したい被写体が、ファインダーの白い光枠の内側一杯に入るようにして下さい。

- 1m以内の近接撮影のときは、光枠内部の小さな指標がかこむ範囲に、写したいものが入るようにします。
- また写したいものが暗すぎて、EE（自動露出）の限界外ならば、赤いマークがでて警告を発し、シャッターは切れません。このような場合は、フラッシュ撮影をして下さい。（フィルムを巻かなくても、リリースボタンを押して赤マークが出るかどうか確認することができます）
- カメラは、下の写真のようにしっかり構えて下さい。特にリリースボタンを押すときは、指を立てずに、指の腹で静かに押し下げるのがコツです。

ゾーンフォーカス
マーク直視窓 →



ゾーンフォーカス
マーク



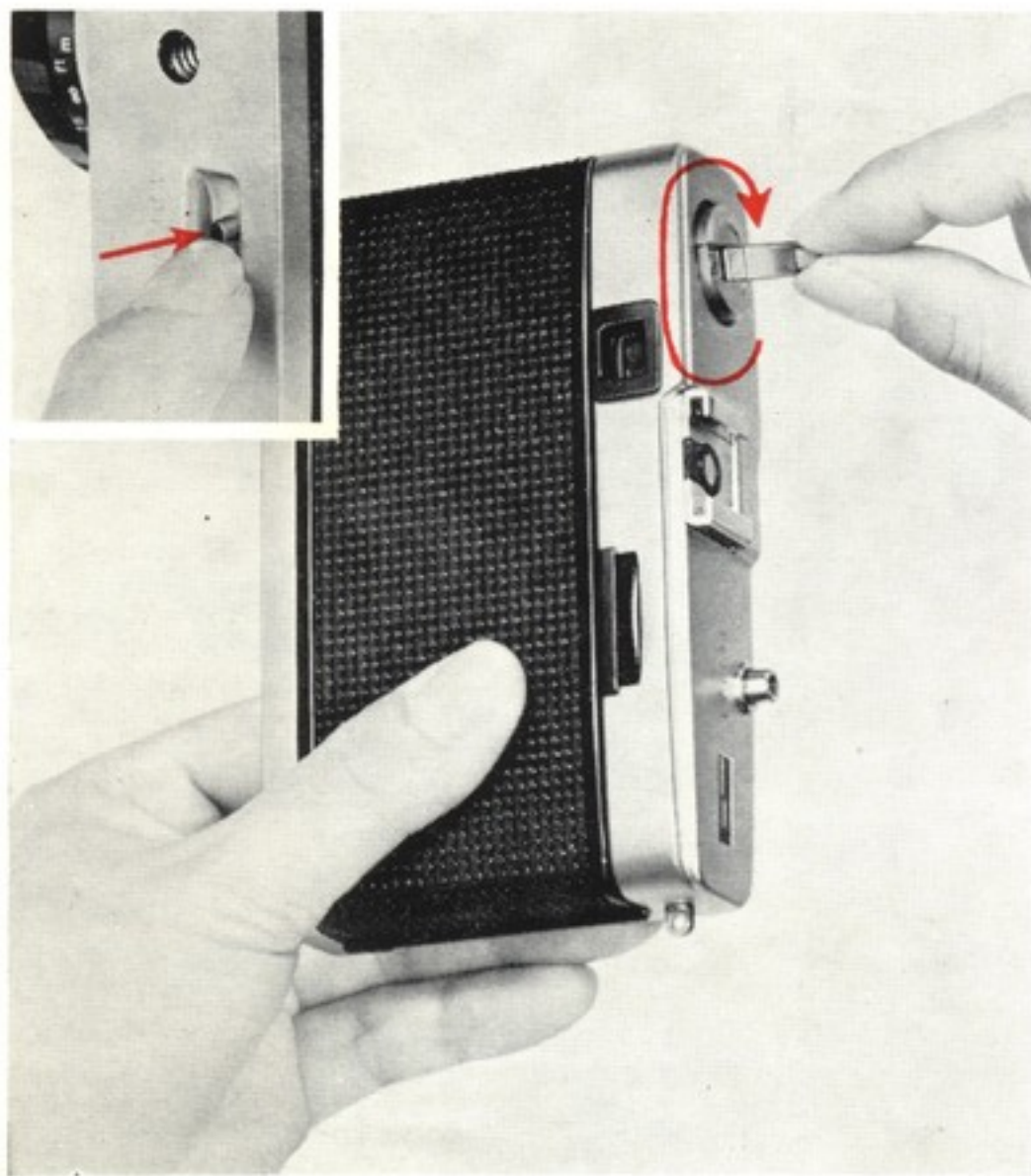
距離 1 m 1.5 m 3 m ∞

被写体 クローズアップ ポートレート（半身像） グループスナップ 風景遠景

※ 人を通り越して止まったところは最近接で90cmです。



- ヨコ位置にカメラを構えるときは、両手をカラダにしっかりつけて下さい。
- タテ位置のときは、右手をカラダにしっかりつけ、左手でカメラが動かないように保持します。



8. フィルムを巻戻します。

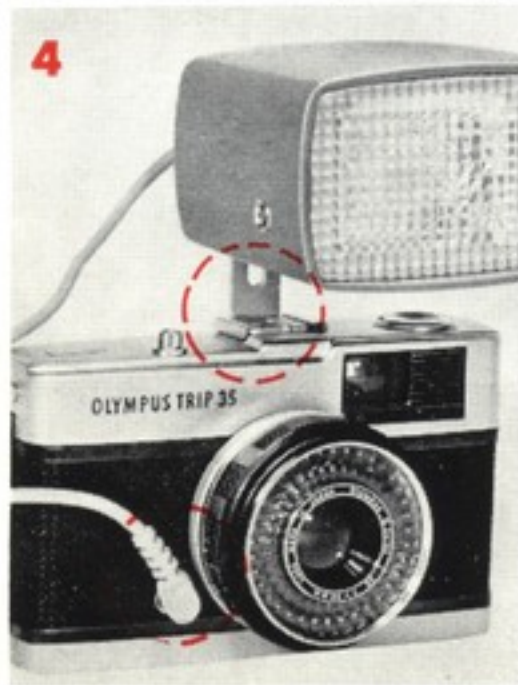
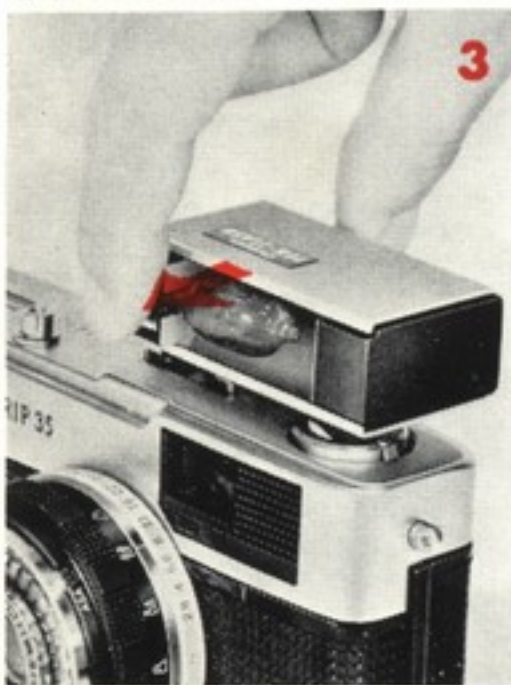
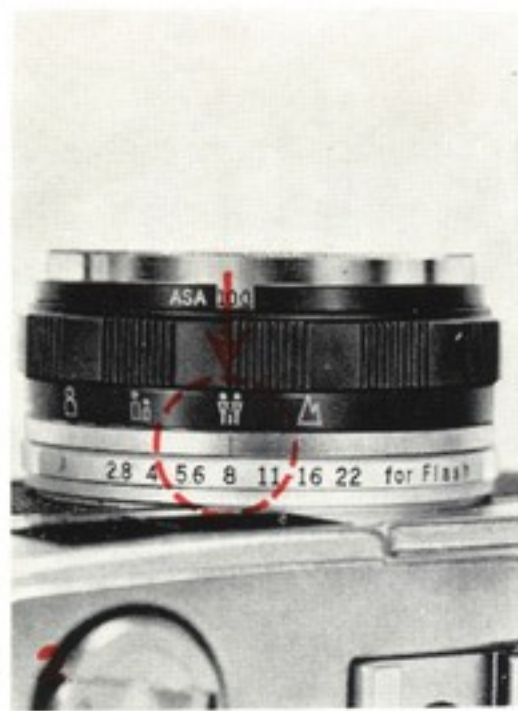
撮影が終わったら、フィルムを巻戻します。撮影が終わったかどうかは、フィルム駒数計が12や20または36になったことでわかります。

フィルムの巻戻しは、まずカメラ底部のフィルム巻戻しボタンを押込みます。(押し込むだけで、フィルムが巻戻せる状態になる巻戻しボタンセット式です。)

次に巻戻しクランクを起し、クランクの矢印の方向に回して下さい。フィルムを巻戻している間は、クランクが重く感じますが、フィルムが巻取られ、巻取りスプールからフィルムの先端が外れると急に軽くなります。なお、巻戻しの際は念のためレンズキャップを付けて巻戻した方が安全です。こうして巻戻したら、直接日光の当たらないところで裏蓋をあけ、フィルム巻戻しノブを引出して、フィルムを取出して下さい。

8

フラッシュ撮影



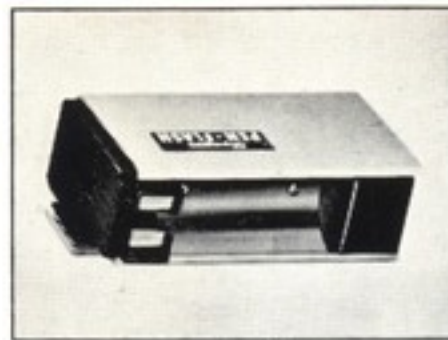
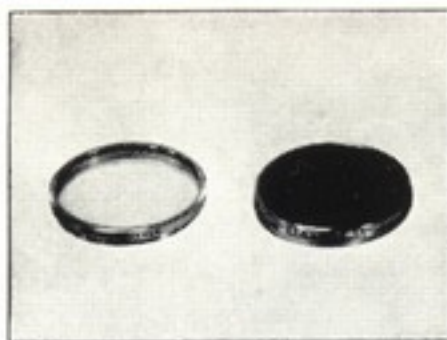
- 赤い警告マークがでるような暗い被写体の場合には、フラッシュ撮影をして下さい。特にコンパクトスタイルのペンフラッシュCLは、コードなしで使えるので便利です。
- フラッシュ撮影の場合は、絞り環を回してA(自動)をはずし、被写体までの距離に応じた絞り数値(フラッシュバルブの箱に記載されています)に合わせて下さい。この場合シャッタースピードは、 $\frac{1}{30}$ 秒になります。
- ペンフラッシュCLは、カメラ上部のアクセサリシュー(コードレス接点付)に差込むだけで電氣的に接続します。距離と絞りの関係はペンフラッシュCLに付いている露出表を参照して下さい。
- 一般のフラッシュガンやストロボを使用する場合にはアクセサリシューに差込み、フラッシュの接続プラグをカメラのシンクロソケットに取付けます。

付属品をお揃え下さい

●フィルター

オリンパス・トリップ35には、ペンフィルターの43.5mmねじ込み式か、45mmかぶせ式を使います。

- 43.5mm / UV, Y2, ¥700
- 43.5mm / 1A, 81C, 82C ¥750
- 45mm / ND4 ¥750

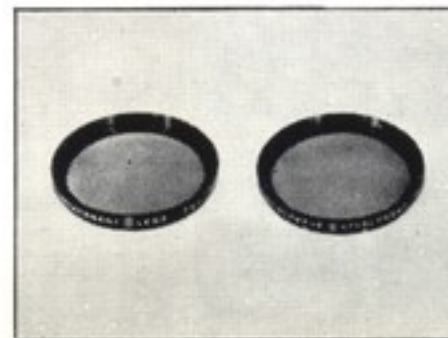


●ペンフラッシュCL

(コードレス)……¥800
AG-1, AG-1B (カラー用) の2種類のバルブを使うコード不要の世界最小のフラッシュガンです。

■フィルターの種類と性質

白黒用	UV	有害な紫外線をカットして、鮮明な画をつくります。またレンズの保護用として、常時使用できます。
	Y2	青空を暗くし、白い雲をくっきり浮か出させるなど、明暗の描写が強調され、立体感ができます。
共用	ND4	光の量を1/4にします。カラー・白黒フィルム共に使用できます。
カラー用	1A (スカイライト)	UV同様有害な紫外線をカットし、青味がかかった画調になるのを防ぎます。またレンズ保護用としても使えます。
	81C (曇天用)	曇天または雨天で撮影するとき用いると、青味がかかった色にならずに写ります。
	82C (朝夕用)	朝や夕方など赤い光の多い時間に撮影するとき用いると、黄赤味がかかった色にならずに写ります。



●ペンアップ3……¥3,500

●アタッチメントレンズ

f=30cm43mm } 各¥1,300
f=40cm43mm }

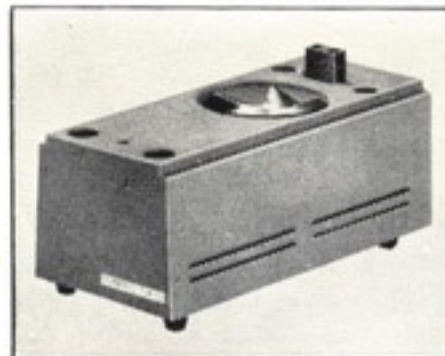
文献、図書、写真、資料などの複写撮影はもちろん、小動物の生態写真や静物の近接撮影ができる便利な接写装置です。アタッチメントレンズ f=30cm43mm を併用の場合は A5 (14.8×21.0cm) まで、アタッチメントレンズ f=40cm43mm を併用の場合は A4 (21.0×29.7cm) までのものが写せます。なおペンアップ3、アタッチメントレンズは、それぞれ単独ではトリップ35には使用できません。

●カラーライドを楽しみましょう

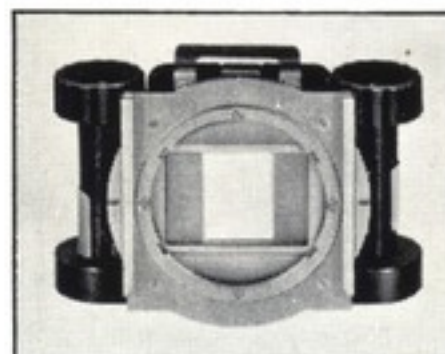
せまいお部屋でも大きく投影でき、画面のすみずみまでしっかりしたピントをむすぶペンスライドプロジェクター。カラーライドの魅力をみんなで楽しんで下さい。

●ペンスライドプロジェクター2型……………¥5,000

●映写フィルム：ペンおよび35ミリサイズマウント●映写レンズ：F2.8 f=55mmワイドレンズ●光源：100V, 100W●照明：3枚構成コンデンサー



●プロジェクター用クーラー……………¥1,900
長時間映写しても熱くならず、安定した画面が楽しめる冷却ファンです。



●フィルムストリップアダプター……………¥1,200
撮影したカラーフィルムを長巻のままプロジェクターにかけて、映写できます。

●カメラは大切に
しましょう

- カメラには、ホコリや湿気が大敵です。保管する場合は、できるだけ乾燥した空気の流通のよいところにしまって下さい。
- レンズには指をふれないで下さい。もし指をふれてしまったら、すぐ清潔なノリのついていない木綿布で拭いて下さい。そのままにしておくと、指紋などがとれなくなってしまいます。
- 海岸で撮影したあとは、カメラの表面を柔らかい布で良く拭きとり、塩分などがついたままにしないで下さい。
- 鉄の箱やテレビやラジオのそばに長く置かないようにして下さい。
- カメラの具合が悪い場合は、すぐ最寄りのオリンパスサービスステーションにお持ち下さい。



オリンパス・サービス・ステーション・ネットワーク

東京	東京都千代田区神田小川町3の7	☎(294)4411
大阪	大阪市南区安堂寺橋通り2の32	☎(261)6071
名古屋	名古屋市中区錦3の23の31栄町ビル	☎(961)0531
九州	福岡市天神1の14の1日本生命ビル	☎(76)4466
北海道	札幌市北3条西4丁目日本生命ビル	☎(23)2320
仙台	仙台市名掛丁91 駅前第1ビル	☎(25)6821
横浜	横浜市西区北幸1の7の2横浜駅西口ビル	☎(311)2041
広島	広島市中町7の32 日本生命ビル	☎(48)0291
北陸	金沢市香林坊2の4の30 五輪ビル	☎(62)8257
新潟	新潟市東大通り1の23マルタケビル	☎(45)7337
静岡	静岡市追手町1の6 日本生命ビル	☎(53)2135

オリンパス光学工業株式会社